

WEB 経友会誌 第19号

眞壁先生と秋庭先生の追悼号

目 次

1. 追悼文 眞壁肇先生を偲んで

鈴木 久敏 様

(筑波大学名誉教授、元眞壁研究室助手)

2. 追悼文 秋庭雅夫先生を偲んで

小島 克朗 様

(データデザイン㈱代表取締役、1982年修士 秋庭研)

3. 2021年度経友会 Web総会のご報告

4. 編集後記

安田 健一郎

(編集委員長、1981年早川研卒)

5. 事務局からのお問合せ案内

- ・お問合せ、投稿、寄稿
- ・経友会への入会手続きと会費について
- ・経友会への入会申し込みについて
- ・会員情報の変更申請について
- ・ご寄付について
- ・個人情報の取扱いについて

追悼文

眞壁肇先生を偲んで



鈴木 久敏

仲睦まじい生前のお姿

筑波大学名誉教授、元眞壁研究室助手

1976 博士課程満期退学（眞壁研究室）、工学博士

東京工業大名誉教授の眞壁肇先生が 2021 年 2 月 6 日(土)にご逝去されました。かねてより慢性膿胸で通院加療されておりましたが、2 月 4 日に容態が急激に悪化され、病院へ緊急搬送されましたが、治療の甲斐もなく 92 歳の生涯を閉じられました。折から新型コロナウイルス感染症で 2 回目の緊急事態宣言が発出されており、葬儀・告別式はお身内だけで執り行われました。生前の功績により、先生は従四位に叙せられ、瑞宝小綬章を授与されました。

先生は昭和 26 年 3 月に東京工業大学応用数学コースをご卒業、同 29 年 3 月に同大学研究科数学教室特別研究生（現在の大学院）を修了され、昭和 37 年に工学博士(東京工業大学)の学位を取得されました。大学院修了後に東京理科大学理学部数学科に赴任され、同大学講師・助教授、横浜国立大学工学部講師・助教授を経て、昭和 40 年 3 月に東京工業大学理工学部経営工学科に助教授として着任されました。昭和 44 年 7 月に教授に昇任され、眞壁研究室（野田淳彦助教授が着任された後は眞壁・野田研究室）を構えられました。経営工学科で教育、研究に従事する傍ら、学科運営にも精力的に取り組まれました。大学運営面でも昭和 62 年には工学部代表の評議員に就任され、理学部長、工学部長、教務部長、理学部評議員と共に当時の田中郁三学長を補佐されました。昭和 63 年 3 月に満 60 歳で定年退官され、同年 4 月に名誉教授の称号を授与されました。

眞壁先生は、永らく信頼性工学における日本の第一人者としてご活躍され、信頼性の研究・教育・啓蒙・普及に努め、多くの研究者や実務家を育成されました。先生の学術上の功績は品質管理と信頼性工学を融合した品質保証体系の確立にあり、今日の信頼性理論の根幹を形成し、日本製品の信頼性向上に大きく貢献されました。昭和 54 年には、この分野における最高の栄誉であるデミング賞本賞を受賞されました。また、これら学術上の活動に留まらず、原子力発電所品質保証検討委員会など通商産業省、科学技術庁等の政府の仕事や産業界での信頼性工学の普及などの活動を精力的に熟されておりました。

先生は、学者・研究者として一流であることに止まらず、教育者としても超一流で、各界で活躍する大勢の学生を育てられました。先生の講義は大変分かり易いと評判で、数学の抽象的な概念なども、先生は簡潔な説明と的確な図を描かれ、数学が苦手な学生も「スーッと頭に入ってくる」と言うほどのものでした。研究室のゼミでも、文献の内容を直訳したような説明では納得されず、「その本質は何？簡単に図で説明してみて」と、常に学生が自分の頭でしっかり理解しているか、理解したことを第三者にきちんと説明できるかを問う場面が多々ありました。その影響を受けて、研究室内の学生同士のゼミでも、

先輩学生がいとも得意そうに後輩に向かって「その本質を説明して」と言う有様でした。このような形で、他大学の研究者を含めて数多の学生・研究者の研究指導に当たられ、経営工学科の歴史の中でも特筆する数の大勢の課程博士・論文博士を輩出されました。

私自身は、昭和45年に東京工業大学制御工学科を卒業し、当時では珍しく大学院では別専攻の経営工学専攻に進学し、眞壁研究室に所属しました。学部とは異なる専攻に進学した動機は実に不純なものでした。当時、東京工大には学部成績が優秀ならば無試験で大学院のどの専攻にも進学ができる推薦入学制度があり、私もその特典を受けられる状況にありました。ところが、昭和44年当時、東京工大もご多分に漏れず大学紛争の真っ最中で、私は推薦入学を決め込んでおり、大学院の受験勉強に精を出す他の学生を尻目に、安心して大学紛争の早期解決を目指す活動に没頭していました。ところが進学予定の制御工学専攻が突如、推薦入学制度を廃止してしまい、無試験での進学が不可能になりました。紛争解決よりも入試勉強に没頭していたライバルと同じ土俵で競争するのは不利と感じ、学内で推薦入学制度を継続している中で自分の関心に近い数理工学的な研究ができる専攻を探し、経営工学専攻に行き当たりました。経営工学専攻の中で誰に指導教官をお願いすべきかを経営工学科の友人に相談したところ、「眞壁先生は優しいよ」と言われ、まったく面識もないのに推薦入学で潜り込み、眞壁先生の指導を受けることになりました。ちょうど先生が教授に昇任され、単独で研究室を構えられたばかりで、偶然、眞壁研1期生となりました。先生がご専門とする品質管理、信頼性工学、確率・統計などには全く関心がなく、数理計画、最適化などの決定論的な数理を選好する私を、眞壁先生は「研究室の幅が広がるから」と温かく迎えて下さり、修士と博士の6年間(1年留年)、大学院生としてご指導を受けました。先生とは専門分野が少し異なるので細部までご指導いただくことは難しく、また当時、学内にも数理計画分野の専門家は誰も居ない状況でしたので、先生が探してきて下さった英文雑誌の論文を自分なりに解釈して、週1回の定例ゼミで先生や後に着任された森雅夫助手(後に経営工学科教授)に説明するという日々でした。まだ研究者の卵の私が自分勝手に理解した説明を眞壁先生と森先生は根気よく聞いてくださり、むしろ私の独自の発想や解釈が面白いと応援して下さいました。大学院修了後、私は森雅夫先生の後釜の眞壁研助手に採用していただき、何と眞壁先生の定年退官まで12年間もの永きにわたって、眞壁先生の下で自由気ままに研究者生活を送ることができました。後に野田助教授の下に、助手として鳩山由紀夫氏(後の内閣総理大臣)や西尾敦氏(後の明治学院大学教授)が着任されてきました。専門分野的にはお二人の方がよっぽど眞壁研助手に相応しい方々なのですが、新しいことに挑戦することを是とする眞壁先生の研究室だからこそ、私のような不詳の弟子も、先生の庇護のもとに研究者人生を全うできたと感謝しております。

眞壁先生担当の経営数学の授業を助手としてお手伝いしました。その際に先生が、「数学には3つの役割、解析(analysis)、説明(interpretation)、計算(computation)がある。」と良く話されていました。いまでも素晴らしい卓見だと感じています。私は先生の定年退官と同時に筑波大学に移り、社会人ビジネススクールで教鞭をとることになりました。その際に、数学嫌いの社会人学生に数学が如何に企業経営にも役立つかを理解させ、学ぶ意欲を掻き立てさせる目的で、先生から教えを受けたこの概念を利用させていただきました。「数式は難しいと毛嫌いしているかも知れないけど、実は数式は外国語と同じような"言語"なのだ。数式はひとつずつ意味を持ち、解釈できる。数式を通すとお互い異なる分野の人間同士でも会話できる。数式を通すことで、日常言語よりも厳密に、誤解を生まない伝達が可能」と。数学を計算の道具だけと思っていた文系社会人には「目から鱗」の発見のようでした。

眞壁先生の定年退官後、これまで 2 回ほど大岡山で先生をお招きして眞壁・野田研同窓会を開催しました。一昨年来、多くの卒業生から「またそろそろ 3 目を開催したいね」との要望が出されていたので、2019 年秋頃に眞壁先生にはお伝えしたところ、先生からは「春になって温かくなったら」とのお返事をいただいていた。ところが生憎、昨年春以来の新型コロナ禍のため開催は見送りになってしまいました。コロナが落ち着いたらと思っていたところに、悲しいお知らせを受け、先生の優しい笑顔を見ることが能わず、永遠にお別れすることになってしまいました。

私ども門下生一同、先生からお受けしたご恩とご厚情を忘れず、先生の教えを後輩にしっかりと伝えていきたいと考えています。先生のご冥福、加えて奥様、ご家族様のご健康、ご繁栄を心よりお祈りしております。合掌。

「秋庭雅夫先生を偲んで」

東京工業大学経営工学科秋庭研究室

1980 年卒業 小島克朗



秋庭雅夫先生ご遺影

東工大名誉教授でいらした秋庭雅夫先生が、2021 年 3 月 9 日にお亡くなりになりました。昭和 4 年 5 月生まれで、享年 91 歳でした。秋庭研ではここ数年、毎年 OB 会が開催されておりましたが昨年はコロナの影響で開催されず、今年こそと期待していただけに大変残念で悔しい思いでいっぱいです。

私は学部 4 年生の 1979 年春から M2 修了の 1982 年 3 月まで秋庭研究室にて先生にご指導頂きました。秋庭研に所属し、先生は学問には厳しくも、学生に対しては非常に面倒見が良く、コミュニケーション、特に学生との交わりを重要視する方だという事を知りました。

例えば秋庭研には室長制度というものがありませんでした。研究室所属の M2 から室長を選び、研究室の行事では室長が皆を引っ張るという制度です。かくいう私も M2 の 1 年間、室長を務めさせて頂きました。一方、秋庭研の慣例行事のひとつに週に 1 回「食事会」と呼ばれる昼食会がありました。会では先生を筆頭に助手の先生方や事務官の方も含め研究室全員が一堂に会して昼食をとりますが、昼食会を確実に実施するのも室長の役目でした。生産管理講座の秋庭研では、夏休期間中に先生の関与先企業の生産現場に工場実習として合宿に出向く慣例があったのですが、このような慣例も食事会にて説明されます。昨年はどこそこ会社に行って何が大変だったか、その前はどうか等の情報も昼食会にて知らされます。このような過程を経て、先生方・先輩方の研究テーマやお人柄を随時理解し、新規所属した 4 年生もだんだん研究室になじんでゆくという仕組みになっていたわけです。秋庭先生はこのようなシステムを設計し、学生達とコミュニケーションを取るという手法を使っていたらしく思います。

生産管理講座は実験講座でもあったので経営工学科で唯一実験室(人間工学実験室)を持った研究室でした。実験室には当時マイコンと呼ばれていた今の PC、Apple II が設置されていました。スティーブ・ジョブズがアップルを創業し、初代コンピュータである Apple I を開発・販売開始したのが 1976 年ですので、その僅か 2 年後、まだ日本に代理店が無い時代に秋庭研究室は 2 代目の Apple II を導入し、実験結果の解析等に活用していた訳です。当時 Apple II は当然日本語化されておらず、カタカナ表示機能を自分たちで構築し使用した記憶が残っています。日本語ワープロはこの後の時代に登場するのですが、ワープロで論文作成する事にも先生はいち早く取り組み始めていらしたと思います。このように秋庭先生は新しい技術を取り込むのに積極的な研究者だったと思います。

さて工場実習ですが、私は M1 の夏に日本製鋼所の室蘭工場での合宿に参加しました。先生も含めて全員が工場の寮にて寝泊りです。私のチームには電炉にて鉄の成分調整をする作業工程において、電炉の電力消費量を最小化するという課題が与えられました。現場は巨大な旋盤や鋳造設備が並ぶ生産工程で、現場の方々に交ざりデータ収集と分析作業を行いました。毎日工場での作業が終わると歩いて寮に戻り夕食を取ります。1 日はそれでは終わらず、夕食後に秋庭先生から招集がかかり、寮の 1 室でゼミが行われます。ゼミでは先生に当日の作業報告を行い、その内容に応じて翌日の作業及び翌朝までにすべき準備作業が指示され、そ

れをこなしてから翌日の実習に臨むといった結構ハードな内容でした。

私のチームでは苦しみながらも先生と助手の鈴木先生・圓川先生にご指導を頂きながら、分析データの統計処理と、線形計画法を適用することにより、何とか実習期間内にて最適解を導き出すことが出来ました。最終日に発表会を行い、その後にセットして頂いたパーティーでは北海道のウニやお酒を堪能させて頂いたことは今でも記憶に残っております。改めて思い返してみますと、秋庭研だったからこのような貴重な経験を体験できたのだと、先生には非常に感謝しております。

さて、研究室の慣例行事でもうひとつ(ふたつ?)欠かせないのが OB 会と BBQ でした。詳細は後述致しますが、実は私はこの 20 年ほど、秋庭研 OB 会の幹事をお引き受けしてまいりました。秋庭研 OB には蔵前ジャーナルでご紹介される様な、追悼文を寄稿するに相応しい方が数多くいらっしゃるのですが、OB 会幹事を長く務めたという事で経友会の川崎会長から私に持ち掛けられ、役不足とは思いながらもこの追悼文をお引き受けした次第です。

さて、欠かせない慣例行事のひとつである BBQ についてのご紹介です。これは年に 1 回、秋庭先生が研究室メンバー全員を鎌倉のご自宅に招き、バーベキューをふるまって下さるというありがたい行事でした。鎌倉のお宅を直接訪問するのではなく、一旦どこかで集まって先生がガイド役となりハイキング等をして、お腹を空かせてから先生のご自宅にお邪魔します。ご自宅では先生の奥様が、バーベキューセットを万端整えて下さっており、ご挨拶もそこそこに、先生のご自宅の庭やお部屋を自由に使って、バーベキューパーティーが始まる訳です。食の太い学生たちが食べきれないほどの十分な牛肉やお野菜をご準備頂いていた訳ですから、奥様の負担(労力も家計も)は相当なものであったと推測致します。先生はお酒がお好きで、尚且つ知識も豊富でいらしたので、高級な酒類も(能書き付きで)十分用意して頂いておりました。会費も無ければ手土産も不要という決まりで、先生のお言葉を借りれば、「普段はろくなものを口にしていない学生さんに、うまいものや酒を飲み食いさせてあげる慈善事業だ。」という事でしたが、まさにその通りでした。今でも思い出しますが、先生と奥様は非常に仲睦まじく、大勢による騒がしい限りのこの宴会に、奥様はにこにここと対応してくださいました。このようなパーティーを本稿では BBQ と表現致しますが、明らかに BBQ は研究室の結束を強める原動力だったと思います。毎年行われていましたので、私は B4, M1, M2 と、計 3 回参加させて頂きました。たまたま手元に M1 の時の写真(1980 年秋)がありましたのでご紹介いたします。



1980 年当時 BBQ

もう一つの欠かせない慣例行事が、秋庭先生を中心に研究室 OB と在学中の学生が参集し懇親する OB 会でした。OB 会をセッティングして司会を行うのも室長の役目でした。私も研究室在籍わずか数ヶ月で初めて OB 会に出席し、1976 年卒の 1 期生を筆頭とする研究室の先輩 OB とお会いした訳です。M2 では恒例通り幹事と司会を務めさせて頂きました。

この OB 会はいつしか秋庭雅夫先生の「雅」の字から「みやび会」と呼ばれる様になりました。大学院修了後は OB として招待されるようになりましたが、ほぼ毎回出席したはずですが、1988 年に先生が出張中に心筋梗塞で倒れられ、一時期大学をお休みされていた事がありましたが、その年も復帰後に奥様の監視の元、お酒を控えて参加されておられたと記憶しております。今回改めて複数の OB から聞き取りを行ったのですが、みやび会は 1990 年に先生が退官され、東工大から秋庭研究室が消滅するまで、毎年開催されていた事が確認できました。秋庭研発足後 1 回も途切れなかったのはすごい事だと思います。先生のお人柄と歴代室長のご尽力の賜

物と改めて感じます。

さて、東工大に秋庭研が無くなり当然室長もいない訳ですから、その後しばらくは、みやび会は開催されなかったはずですが。少なくとも私に開催通知が届いた記憶はありません。そんな折、私事ではありますが、1997年に今の会社を立ち上げました。設立当初の人材難の中、たまたま同じように脱サラをしたばかりの秋庭研OBである、斎藤さん(1987年卒)、山崎さん(1990年卒)に出会い、仕事を手伝って頂きました。ここに秋庭研OBが3名、仕事でつながった事になります。この時に何がトリガーになったのか記憶にありませんが、当然の様にこの3名が幹事になりみやび会を再開しようという事になりました。経友会名簿及び各人の記憶を元に連絡の取れるOBのリストを作成し、1990年の2月に、恐らく約10年ぶりとなるみやび会を、先生と奥様をお招きして開催する事ができました。会場は当時新橋にあった、蔵前工業会館と記憶しております。その後は比較的古い世代のOB(オールドOB会員)と新しい世代のOB(ヤングOB会員:とはいっても両者ともに年は取っていますが)に分かれ、定期的にみやび会が開かれるようになりました。この年から私はオールドOB会の永久幹事として開催に関り続けてまいりました。

(2008 BBQ 再開 左筆者 中央奥様)

私の手元には2004年と2008年に開催した記録がありますが、その2008年2月のみやび会で、思わぬ出来事が起こりました。会の席で先生が突然、「考えてみると秋庭研の原点は我が家でのBBQであったので、今後のみやび会は我が家でのBBQにするか!」とおっしゃったのです。学生時代とは違い大の大人が大勢で先生のお宅に押しかけてのBBQ等、考えても見ませんでしたので、少なくとも私は驚きました。ところが出席者からはお酒の勢いもあり、「それは良い。すぐにでもやりましょう。」等、私の心配とはかけ離れた意見が続出し始めました。そんな事になったら、奥様がさぞや大変であろうと思い、ちらと奥様のお顔を伺いますと、思いもよらず頷いていらっしゃいます。あれよあれよという間にその年の10月に、それまでのみやび会とBBQが合体した新しいみやび会が本当に実現したのです! その際の写真も手元にありますので、ご紹介させていただきます。写真の和やかな雰囲気からもお分かりと思いますが、先生ご夫妻には大変なご負担をおかけしているにも関わらず、非常に快くまた暖かく迎え入れてくださいました。いつもの武勇伝も健在で、改めて先生の親分肌の気性を確認できたのでした。



その後2010年にもBBQが開催されましたが、次のBBQを計画していた2016年に悲しい出来事が起こりました。この年の2月に先生の奥様がお亡くなりになったのです。先生もさぞや力をお落しの事だったと思います。亡くなって間もなく、先生から、奥様もその年のみやび会を楽しみにしていたので皆の顔を見せてやりたい、とご連絡頂きました。その様なわけで2016年はオールド・ヤング関係なく先生のお宅に集まりお線香をあげさせて頂き、奥様のご遺影とともにしめやかな会を行いました。

奥様没後は少しでも先生をお力付けられればという思いもあり、毎年先生のお宅でのみやび会を、今度はご子息の正明様のお手伝いを頂き開催してまいりました。2017年だけは、米寿のお祝いという事で、帝国ホテルに集散しましたが、2018年、2019年は先生のお宅での開催でした。先生は少し耳が遠くなったとはいえ至ってお元気なご様相で、出席者は皆毎回秋庭節を拝聴して先生のご健勝を確認し安堵していたと思います。

先生とは、学生時代から年賀状のやり取りを欠かしておりませんが、今年の



BBQ再開時のご夫妻

元旦に頂戴した賀状には、

「老化予防のため言葉の杜の中で遊んでいます。**空中**=この中は全体→空中ショー／**中空**→この中は中央→中空に霞漂う」

と書いてあり、まだまだ頭脳明晰でお元気でいらっしゃると安心しておりました。冒頭の通り、昨年はコロナ禍で計画を止む無く中止した事もあり、今年こそはと思っていた矢先に今回の訃報に接し、繰り返しになりますがOB一同本当に残念に思っております。

さて、気がつけば先生の研究者としての業績等の話題にはあまり触れずに、長々と先生と秋庭研の思い出ばかり記載してしまいました。特に後半は秋庭研に関係無い方にとっては長いだけで興味の沸かない内容になってしまったかもしれませんが、その点につきましては大変申し訳なく思います。我々秋庭研OBの中には、秋庭先生との思い出話を語り始めるとこのようにキリがなくなる人間がたくさんいる事をご紹介したという事で、ご勘弁頂きたく存じます。まだまだ語り足りない思いではございますが、この辺で筆をおき、先生のご冥福を心よりお祈りしたいと思います。

会員の皆様へ

2021 年度経友会 Web 総会のご報告

2021 年 6 月 26 日（土）15 時より、オンラインミーティングシステム ZOOM を使用して、2021 年度経友会 Web 総会を開催しました。長引くコロナ禍のため会員の皆様に集まって頂いて総会を開催することができず、残念ながら 2020 年度経友会 Web 総会(2021 年 1 月 21 日開催)と同様の開催方式となりました。

今回は総会と合わせてオンラインによる講演会と懇親会を実施いたしましたが、29 名の皆様から申し込みがあり、最後まで 18 名の皆様に参加いただきました。

また、講演会として栗橋 寿様(S58 年社会工学科卒)の貴重なご経験に基づく多彩な内容をご講演いただき、その後の懇親会で闊達な情報交換、意見交換を行うことができ、うまく懇親会が進むのかと不安視していたことは杞憂に終わりました。

(当日最後まで参加頂いた方々のスクリーンショットをホームページの速報でご紹介していますのでご覧ください。)
以下総会報告を下記します。総会での報告資料（パスワード：ku）はホームページに掲載しております。

1. 2021 年度総会

(1) 報告事項

① 2020 年度活動報告・2021 年度活動計画（全般：川崎）

a. 2020 年度活動報告

- ・会員拡大について
- ・会員へのお知らせ（一斉送信メールの発信 2020/6～2021/5）
- ・経友会ホームページ※の活用(2020/6～2021/5) ※2020/2 より運用開始
- ・Web 経友会誌発行（原則として毎年春・秋に発行、経友会 HP に掲載）

b. 2021 年度活動計画

- ・講演会の開催（秋 or 来年春）：
- ・入会者減少への対応
- ・HP の積極的な活用と掲載基準の見直し(プライベートポリシーの見直し)

② 2020 年度収支決算報告・会計監査報告(向井)

③ 2021 年度収支予算案(向井)

④ 役員選任の件(川崎)

⑤ 質疑

(2) 結果

- ① 2020 年度収支報告及び監事による監査報告があり 2020 年度決算は承認されました。
- ② 2021 年度収支予算案は承認されました。
- ③ 2021 年度役員選任については下記の通り現役員の留任が承認されました。

会長：川崎保美（留任、S50 年卒真壁研）

副会長：向井一幸（留任、S48 年卒小林研）、沓野龍夫（留任、S52 年修真壁研）

幹事長：山品博史（留任、S52 年修小林研）

監事：飯田勝彦（留任、S37 年卒松田研） 西江誠（留任、S48 年卒市川研）

経友会誌編集委員長 安田健一郎（留任、S56 年早川研）

④ 質疑

無し。なお、会長からイベント等あれば事務局へ連絡願いたい旨のお願いをさせていただきました。

(3) Web 総会参加者 18 名（敬称略）

鈴木(1961 卒小林研)、飯田(1962 卒松田研)、西江(1973 卒市川研)、向井(1973 卒小林研)、

川崎(1975 卒真壁研)、妹背(1976 修野田研)、松坂(1977 修小林研)、沓野(1977 修真壁研)、

山品(1977 修小林研)、野村(1978 修小林研)、峯尾(1979 卒早川研)、伊藤(1979 卒秋庭研)、

藤野(1980 卒黒澤研)、若月(1980 卒黒澤研)、安田(1981 卒早川研)、

石塚(1981 卒真壁・野田研)、平野(1990 卒秋葉・園川研)、今井(1991 卒野田研)

今後とも皆様の様々なご意見や企画提案などをお寄せください。すべてのご意見にお応えできないかも知れませんが、役員で相談しながら進めていきたいと考えています。

また、2020 年度～2021 年度はまったくと言っていいほど経友会としての活動はできていません。今後も当面は今の状態が続くものと予想されますが、ホームページや Zoom を活用して交流の場を設けていきたいと思います。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

2. 講演会 15:30～16:30

- ・ 講演者 株式会社ワック代表取締役会長
栗橋 寿様(S58 年社会工学科卒)

- ・ 講演テーマ：「脱線人生も悪くない」

～移動遊園地屋を起業して学んだこと～

★大手商社を飛び出し(脱線し)、荒波を乗り越えながら、移動遊園地屋を起業し、大人・子供の皆さんに夢を与え続けてきた人生と私たちや若い人たちに託す栗橋様の思いをお伝えします。

- ・ 今回の講演会では社工会より以下の皆様にも参加いただきました。

南山(1983 卒華山研)、石川(2008 卒中井研)

- ・ なお、今回の講演会説明資料は講師栗橋様のご厚誼により経営会 HP に掲載（パスワード：ku）させていただいております。会員の皆様にはぜひご参照いただければ幸いです。

3. 懇親会 16:40～17:20

講演会終了後、リモートによる初の懇親会を開催いたしました。

懇親会では講演者の栗橋様との Q&A、出席者からの近況報告、初めて経友会に参加された方からの自己紹介、野外から参加されたかたによる景観紹介などなど、短時間でしたが盛況に終えることができました。

また、締めの挨拶を経友会山品幹事長(1977 修小林研)にて行いましたが、その際科学雑誌「NEWTON」に掲載された大学ランキング情報の紹介があり、東工大は日本での大学総合ランキングで 4 位(1 位:東大、2 位:京大、3 位:東北大)、就職ランキングでは 1 位との紹介もありました。

以上 ありがとうございました。

経友会事務局

(お問い合わせ先)

- ・経友会事務局メールアドレス keiyukai@kuramae.ne.jp
- ・経友会ホームページ <https://www.kuramae.ne.jp/keiyukai/>
- ・経営工学系窓口 系主任 梅室博行教授 chair@ml.me.titech.ac.jp

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 東京工業大学

編集後記

WEB 経友会誌編集委員長

1981年卒 安田健一郎

眞壁肇先生が2月にお亡くなりなられ、秋庭雅夫先生が3月にお亡くなりになりました。

お世話になりました先生がお二方も立て続けにお亡くなりになられたことに、驚きとともに、

当時に思いを馳せた自分に気づくのでした。

今回のWeb 経友会誌は、お二方の追悼号として発行させて頂きました。

追悼文をご執筆頂きました鈴木久敏様と小島克朗様に、あらためて御礼申し上げます。

さて、コロナ禍ではありますが、先日、オンライン形式での総会・講演会を開催することが出来ました。

来年は、コロナが収束し、皆さんをお会いできれば、、、と願っています。

オリンピックも近々開催されますので、少しは世の中が元気になればと、、、

最後に、眞壁先生と秋庭先生のご冥福を、あらためてお祈り申し上げます。

<事務局からのお知らせ・トピックス>

◆次号 WEB 経友会誌 2022 年春号 4 月発行予定

お問合せ案内

お問合せ・投稿・寄稿

経友会へのご質問やお問合せ、また投稿・情報提供は、[こちら](#) の入力フォームをお使いください。
資料添付も可能です。

経友会への入会手続きと会費について

経友会への入会手続きと会費については、[こちら](#) をご覧ください。

経友会への入会申込について

在学中または卒業・修了時の入会申込は、[こちら](#) から行ってください。
卒業・修了後の入会申込は、[こちら](#) から行ってください。

会員情報の変更申請について

入会申込時に登録した住所やメールアドレスなどを変更したい場合、本ホームページから経友会事務局へ申請することができます。変更申請は [こちら](#) から行ってください。
また、都合により経友会から退会を希望する場合も、変更申請で行ってください。

ご寄付について

経友会へのご寄付についてのご案内は、[こちら](#) をご覧ください。

ご寄付をご希望の方は、[こちら（ご寄付専用 URL）](#) から必要事項をご入力の上、経友会事務局までご連絡をお願い致します。あらためて経友会からご案内を差し上げます。

個人情報の取り扱いについて

▶ [経友会プライバシーポリシー\[2020.2.1\]](#) —

（お問い合わせ先）

- ・ 経友会事務局メールアドレス keiyukai@kuramae.ne.jp
 - ・ 経友会ホームページ <https://www.kuramae.ne.jp/keiyukai/>

 - ・ 経営工学系窓口 系主任 梅室博行教授 chair@ml.me.titech.ac.jp
〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1
-